

事業内容、事業の成果に関する写真

(1) 医療バスの運行風景



ダラシャクラン難民キャンプの周りには平地が広がり、街や公共交通機関がない。キャンプから医療機関がある都市まで1時間弱かかる。

ダラシャクランキャンプと都市の公立産科病院の間を運行する医療バス。



都市の公立産科病院。



公立産科病院に到着した医療バス。JIM-NET ローカルスタッフ(左端)が、健診の全行程を付添う。

(2) 公立産科病院での健診



公立産科病院へのエコー機供与



エコー機による健診を受けるシリア難民

【添付書類】①
シリア難民妊産婦支援事業
(JIM-NET)



カワルゴスクキャンプ内のクリニック。
事業開始時にはエコー機がなく、クリニックでの精密
検査ができていなかった



エコー機により、妊産婦検診がキャンプ内クリニック
で行えるようになった。また、異常ケースには早期に
都市の病院へ搬送できるようになった。

(3) 母子保健に関する情報提供



母子保健パンフレットの作成。表紙の「マタニティマー
ク」¹は、NPO法人ひまわりの会を通じてシリアで使
われていたものを活用(著作権なし)。



母子保健パンフレットの配布と内容説明のためのセミ
ナーを実施。



母子保健パンフレットを手にする妊婦。



随時、内容の説明と質問に答える JIM-NET スタッフ(看
護師)

¹ シリア国内で JICA による母子保健プロジェクトでも活用されたシリア版マタニティマーク。

(4) 物資配布



(5) 妊婦健診費や出産費用の補助(自己資金)



(6) 専門家派遣の様子



【添付書類】①
シリア難民妊産婦支援事業
(JIM-NET)



キャンプでの少人数制母子保健セミナーの開催
(2014年6月)



専門家派遣時期以外にも JIM-NET スタッフ(看護師)
が家庭訪問を行い、妊産婦や新生児の状況を確認。